



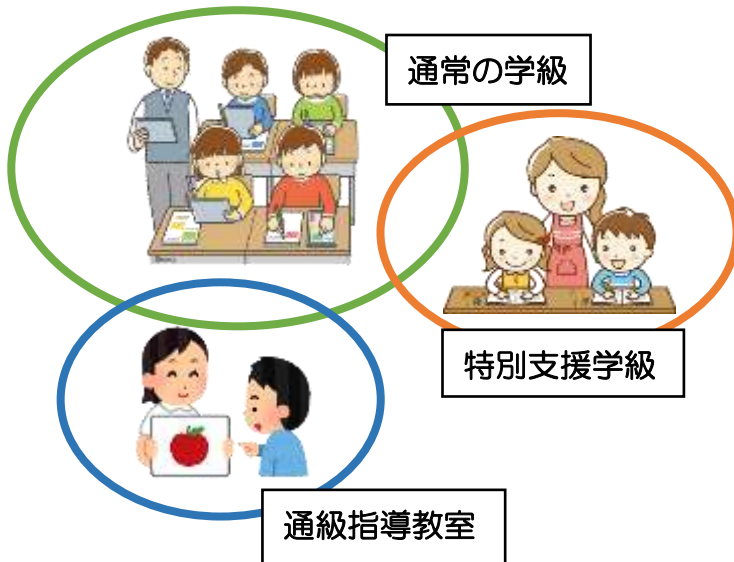
NO.1 「万代長嶺小学校の
特別支援教育」
令和5年5月17日発行

○特別支援教育とは

特別支援教育は、もともとは障がいのある子どもたちのための教育のことを言いますが、現在の考え方は、障がいのある子どもたちだけでなく、すべての子どもたちに関係しています。

人は誰でも苦手さや困難さをもっているものです。その困難さのせいで、勉強や運動が思うようにできなったり、友達と上手に関われなかったりして、うまくいかないことが出てきます。その困難さを軽減し、学校生活をスムーズに送れるようにするのが特別支援教育です。

○多様な学びの場があります



新潟市では、子どもたちに合った場で、より良い学びができるよう、左図のような学びの場を用意しています。

特別支援学級は一人一人のニーズに合わせてより丁寧な指導を行っています。教科学習だけでなく、将来の自立に向けた学習も行っています。

通級指導教室は、まなびの教室、ことばの教室、きこえの教室があります。まなびの教室は、人とのコミュニケーションや気持ちのコントロールなど、ソーシャルスキルを中心に学習します。ことばの教室はことばに課題のある子どもたち、きこえの教室は難聴の子どもたちが通っています。いずれも、週に1回程度、通ってきています。

○全ての子どもたちが進んで参加でき、「分かった」「できた」「楽しいな」と感じられる授業を行います

教室環境のユニバーサルデザイン化

余計な刺激を減らす、教室内を整理整頓する、予定表やタイマーなどで見通しをもたせるなどの工夫で、集中でき、安心できる教室になります。



授業のユニバーサルデザイン化

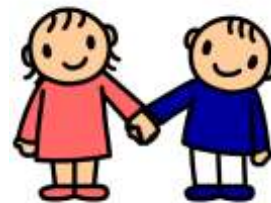
授業の流れをパターン化したり、視覚支援を有効活用したり、魅力的な教材を提示したりするなど、みんなが参加しやすく、「分かった」「できた」「楽しい」と感じることができるよう授業の工夫をしています。



人的環境のユニバーサルデザイン化

教室が安心して過ごせる場所であることは非常に重要です。一人一人が認められ、互いに助け合えるような学級作りをしています。

また、学習の場面で、苦手さがあっても安心して授業に参加できるように、「間違ってもいいんだ」「人と違う考えでもいいんだ」と思えるような雰囲気作りに努めています。



みんなちがって
みんないい

○一人一人の困難さに応じた支援を一緒に考えます

どんなに努力をしても、うまくいかないことがある子どもたちがいます。本人の努力不足のせいではないのに、「もっと頑張れ」「怠けないでちゃんとやりなさい」「あの子はできるのに」と言うのは非常に酷なことです。



片づけられない



言いにくい言葉がある



集中が続かない



耳が聞こえにくい



運動が苦手



平仮名が覚えられない



すぐにイライラする

一人一人、
様々な困難さ
があります。

一人一人の困難さを理解し、どうすればその困難さが軽減できるのか、どうすればやりやすくなるのかを考え、保護者の皆さんと連携して支援していきます。

苦手さや困難さを軽減してくれる支援について正しく理解し、偏見や差別のない誰もが安心して過ごせる学校、安心して暮らせる社会を作っていこうとする姿を目指します。

新年度が始まり、1か月が経とうとしています。学習、運動会練習、委員会活動や係活動、盛りだくさんの毎日です。心配なこともあるかもしれませんが、子どもたちみんなに毎日「勉強楽しいな」「学校って楽しいな」と感じてほしいと思っています。

お子さんの実態に応じた配慮や支援をすることで、意欲的に学習に取り組むようになったり、分かることやできることが増えたり、笑顔で学校生活が送れるようになったりします。

お子さんのことで何か心配なことや気になることがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

【担当】

万代長嶺小学校

特別支援教育コーディネーター 谷川美記子

TEL 245-4488

